

会議の概要

令和7年度 第6回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会

日 時：令和7年11月21日（金）16:15～17:30

場 所：大山小学校 理科室・1年2組教室

（ 進行 ： 大山小教頭 佐藤 圭美 ）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんにちは。午後より授業参観等ありがとうございました。これから令和7年度大山小学校・大山幼稚園学校運営協議会、第6回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏広）

皆さん、こんにちは。今日はだいぶ暗くなってきておりますので「こんばんは」に近いかもしれませんが、本日は大山小学校・大山幼稚園の学校運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。また、大山小学校の先生方には、これまでのご準備であったり、本日の授業の提供等にご尽力いただき重ねてお礼申し上げます。お疲れ様でございました。さらに、大山小学校・大山幼稚園の先生方には、この後時間外までの会議になりご負担をおかけすることになりますけれども、ご理解いただき協力いただきたいと思います。

本日は、大山小学校・大山幼稚園に特化した形で、その課題解決のためにテーマにそって話し合いをしていただくこととなりますが、できれば、そのテーマにとどまらずに先生方と地域の代表である教育委員やCS委員の皆さんと直接話し合う貴重な機会ととらえていただき、（普段のCSの会議に出席されるのは校長先生と副園長先生だけとなっておりますので）先生方と委員の皆さんが、それぞれの実際の現状であったり、思いであったり、そういったものを伝え合ったり聞きあったりするそんなやりとりにも大きな意味があると思っています。ぜひそのことも合わせて、この後の話し合いをしていただければと思います。よろしくお願いいたします。



3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ

（CS委員会会長 矢吹 吉信）

皆さん、改めましてお晩でございます。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今日はこういうカメラの前で話すということで、どこを見ていいのかわからないのですが、よろしくお願いいたします。

本日は、大山小学校の先生方ありがとうございました。特に授業者の先生方には、本日までのご準備本当にお疲れ様でございました。私は、教員になって2年目の三瓶先生の授業を拝見させていただきました。去年初任の時から1年が経って大きく成長し頑張っている姿を見て、(今年教員になった)自分の娘も頑張っているのかなと考えたりしながら感動させていただきました。クラスの雰囲気もよく、児童も集中して学んでおり、児童の言葉を大切にしている先生の姿が素晴らしいと思いました。

その後の分科会にも参加させていただき、幼・小・中の先生方が、どのようにしたら継続した学びができるのか真剣に意見を述べ合っている姿を見て、いつもなのですが、感心させられました。先生方、本当にお疲れ様でございました。

今日は、大山小学校・大山幼稚園のテーマということで、「学習」、「仲よく」、「健やか」の3つについて、大山小学校・大山幼稚園が今よりさらによくなるためにご意見を出していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4 大山小学校・幼稚園出席者自己紹介

＜全体会では行わず、グループ協議の際にグループごとに行う＞

5 検討方法・課題の概要

(1) 大山小学校・大山幼稚園の教育活動並びに本日のテーマについて

(大山幼稚園長・大山小校長 澤藤 晃治)

みなさん、こんにちは。昨年度から園長・校長としてお世話になっております澤藤です。よろしくお願いします。

さて、少しお時間をいただき、大山小学校と大山幼稚園の説明とこれから3つのグループのテーマをお示しさせていただきます。なお、4月に運営ビジョンを配付させていただいておりますので、その詳細については割愛させていただきます。

まず、ご存じの通り本校(園)の教育目標は「めざせ!夢に向かってがんばる子」です。98名の幼稚園児、279名の児童は、毎日夢に向かって楽しく走り続けています。

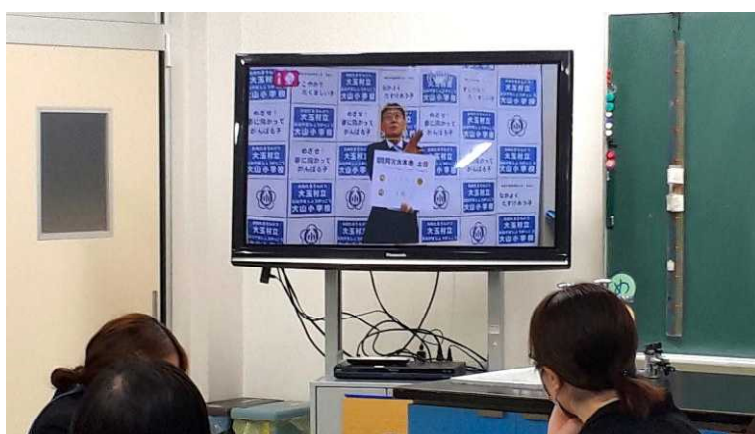
次に3つのテーマについてです。要項を開いていただくとA、B、Cのページがございます。それぞれ小学校、幼稚園から課題等が示されております。これから中心になるテーマをお示いたしますので、それについて話し合ってください、時間があれば細かなことについてふれていただければと思います。

① Aグループ(学習)

課題の焦点は、「平日の家庭学習時間とそれに伴うICTの活用」についてです。令和7年度の全国学力・学習状況調査のアンケート結果によりますと、土・日の家庭学習時間は全国平均と比べて長いのですが、平日の家庭学習時間が全国平均と比べて短く、家庭学習時間におけるICTの活用時間についても全国平均と比べて短くなっています。

週末は家の人たちに見ていただいておりますが、平日は学校から家に帰るとどうしていいかわからなかったり、時間を持て余してしまっていたり、スマホとかのICTは使うもののゲーム等に使ってしまって、なかなか勉強に生かされていないという実態があります。

幼稚園段階からどんな取組が考えられるのか、小学校段階では現実的に今何ができるのかについ



て（子育ての長い系統性を考えながら）、ぜひざっくばらんな話し合いをお願いします。

② Bグループ（仲よく）

中心のテーマは、「折り合いをつける力」「人間関係調整力」です。我々教師は、子どもたちがトラブルでけんかをした時には、言葉を使って本人同士が時間をかけて話し合い、着地点を見つけたいと願っています。しかしながら、日々の学校の教育活動においては、「なかなかゆずらない」、「謝らない」、「謝ってもなかなか許さない」という場面が散見されます。「話してごらん。」と伝えても、「パパに行ってもらおう。」、「お母さんに言ってもらおうんだ。」という場面もあります。

幼稚園では、2年間かけて言葉の研究をしてきました。言葉より先に手を出してしまう子どもたち、うまく人に伝わる言葉が使えない子どもたちもいますし、また、子どもがゆっくり言葉を使おうとしているのですが、親が先回りをしてしまっている場面もありました。いろんなアイデアをお貸しくださるとありがたいです。

③ Cグループ（健やか）

テーマは「肥満と視力、う歯の低受診率について」です。詳細なデータはグループにございます。

＜肥満について＞

各学年ともに本件は全国平均を上回っていますが、本校はそれにも増して上回っています。

＜目と歯について＞

すぐに再検査を受けるよう声がけをするものの、受診率は50％程度にとどまっています。すぐに病院に行ってもらいたいのですが、半分位しか行っていただけていない状態です。

どのようなメッセージを発信すればよいのか、また、具体的な方策はあるか等、子どもたちの健やかな身体づくりのためにお力をお貸しいただきたいと思います。

本日はせっかくお集まりいただいておりますので、ぜひ子どもたちのためにざっくばらんに本音の話し合いをしていただければと思います。皆さまからいただいたアイデアを積極的に学校だより等で発信させていただきますので力をお貸しください。

それでは、本日はよろしく願いいたします。

（2）オリエンテーション

（大山小教頭）

協議の進め方についての説明（付箋に書き込み、それを使いながら熟議を進める）

- ① テーマについて、学校・園、保護者、地域が協力して大山の子どもたちを育むという視点をもとに、家庭、地域で「それぞれができること・行いたいこと」や「それぞれにお願いしたいこと」を赤の付箋に、学校・園で「できること・行いたいこと」や「お願いしたいこと」を青の付箋に書き込む。
- ② 台紙に、記入内容に合わせて思考ツール「ピラミッドチャート」に整理しながら付箋を貼り付け、実現できそうな案（ピラミッドの一番上）を中心に話し合いを行う。
- ③ グループで話し合った内容をワールドカフェ形式で共有する。前後半に分けて実施する。

6 グループ別熟議・協議等の概要

(1) Aグループ（学習）

テーマ「平日の家庭学習時間とそれに伴うICTの活用」

<A-1班>

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ◎ 家庭の協力が大切 !! | ◎ 親の姿を子どもは見ている ～ 一緒に勉強する |
|---------------|--------------------------|

【学校・幼稚園】

- アナログ（プリント等）とデジタルの両立を図っていく。
 - ・ 宿題をタブレットで出す。（学校のタブレットを持ち帰らせる）
- 自主学習 → 得意なこと、不得意なこと等取り組む内容を明確にする。

【家庭（地域）】

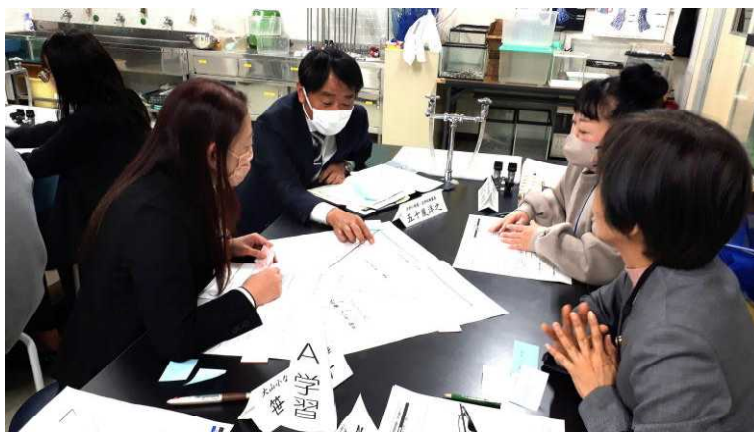
- 親子で一緒に活動（折り紙、読み聞かせ等）を増やす → 「共に学ぶ」
- 子どもの学習時間を決める。
 - ・ 子どもが勉強している時 … 親も学ぶ時間
- 学校の授業について話し合う … 「今日はどんな勉強をしたのか」
 - 子どもの実態をとらえる（ノート、宿題、テスト等をチェックする等）
 - 分からなかったことは自主学習で取り組むよう助言する。

<A-2班>

- | | |
|------------------|------------------------|
| ◎ 家庭学習を支える地域の関わり | ◎ 子どもたちのマネジメント力育成 |
| ◎ 子どもとの豊かな関わりの確保 | ◎ 保護者も教員もICTスキル・知識をつける |

【学校・幼稚園】

- 教員のICTスキルの向上を図る … 研修、情報共有等で（できれば保護者も）
- 子どもたちのマネジメント力の育成
 - ・ 帰宅後のタイムスケジュールづくり → 家庭学習を位置づける
 - ・ 何をどのようにしたら自己の力を高められるのかアドバイスする。（細かな見取りと賞賛）



【家庭（地域）】

- 子どもとの豊かな関わりを確保する。
 - ・ 家庭で約束事を決める。（学習時間等）
 - ・ 子どもと関わる時間を増やす → 一緒に体験し、気持ちの共有を図る
 - ・ テレビを消す。
 - ・ 「話を聞く楽しさ」、「話をする楽しさ」を味わわせる。
 - 体験や経験を増やす。（読み聞かせ、多方向からコミュニケーションをとる活動等）
- 家庭学習を支える地域の関わり
 - 地域の“まちなか広場”をもっとつくる。
 - “改善センター”に自由に使えるタブレットをおく。（自主学習のために）

<A-3班>

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ◎ 自分の夢をもち実現する | ◎ 得意なことを伸ばす |
| ◎ ICT機器で録画する課題（課題の工夫） | |

- ICT活用の提案
 - ・ ICT活用とつながるような宿題
 - ・ 家庭においては、「ICT＝ゲーム（動画）」というイメージを変える。
 - ・ 活用方法の充実（授業において）→ 総合的な学習の時間でのプレゼン、共同のワークシートとして
- 家庭学習の意欲向上 … 自分の夢をもち、実現するために必要であること
 - ・ 宿題だけでなく、自分で課題を見つけ取り組めるようにする。
 - ・ 自己の長所、短所を見つめて取り組めるようにする → 得意なことを伸ばす
 - ・ 自主学習ノートの掲示
- 幼い時期からの読書体験（特に幼稚園）
 - ・ 園での幼児の興味や頑張りを保護者に知らせていく。
 - ・ 「子ども読書サポートAI “ヨンデミー”」の導入を検討する。
 - ・ 読書（読み聞かせ）は、心の安定、心のふれあいにつながる。また、文字や物語への興味・関心を高める効果がある。
- 適切な課題設定
 - ・ 宿題の工夫 → 発達段階に応じた適度なボリューム、教育アプリの活用
 - ・ 家の人を巻き込んだ宿題（家の人に聞いて、伝えて、調べて…）
- 体験活動
 - ・ 関心を持っている運動や遊びに親子で取り組む。
 - ・ 体験型の遊び・学習（地域＋学校＋家庭）
- 家庭の協力
 - ・ 保護者が関わり、約束事を決めて家庭学習の時間を設定する。
 - ・ 子どもの学習中は家族のサポートが必要
→ 学習環境の整備（テレビを消す、一緒に学習する<読書する、調べものをするする>等）

（2）Bグループ（仲よく）

テーマ「“折り合いをつける力” “人間関係調整力”」

<B-1班>

- | |
|-------------------------------------------------------|
| ◎ 他と関わる場を多く設定する＝家庭でも学校でも、子どもの話をとにかく聞く・受け止める・話し合う場を設ける |
|-------------------------------------------------------|

【学校・幼稚園】

- ・ 授業、授業外（特に学活で）… 「自分がやられたり言われたりしたらどう思うか」、「やられたら相手はどう思うか」、「先生や親はどう思うか」を考えさせる。（＝客観視させること）
- ・ 集団活動（集会活動、交流活動）、わくわく Thinking タイム等を生かす
→ 思いを話すこと、相手の話を聞くこと（＝コミュニケーション能力を伸ばすこと）

【家庭（地域）】

- ・ 読書（読み聞かせ）を通して
- ・ 体験型活動に積極的に参加する。
- ・ ゲーム以外の遊び
- ・ 子どもと話す時間を確保する。
- ・ 言語環境を整える。

< B-2 班 >

- ◎ 教師、親、地域住民がモデルとなって、正しい言葉遣いをする
- ◎ トラブル回避、解決の仕方を家庭・地域・学校で共有し実践する

【学校・幼稚園】

- 交流
 - ・ 少数グループ化が多くなりがちなので、学活時にいろいろな人と交流できるよう活動の場づくりをする。
- 日頃のトレーニング
 - ・ 教師がモデルとなり、言葉の意味と使い方を知らせる。
 - ・ 解決の仕方、回避の仕方を指導する。
 - 言葉の使い方・選び方、共感して聞くこと
 - ・ 相手の思いを受け入れるトレーニング（道徳科、特活等）
 - 自分事としてとらえること
- トラブル時
 - ・ 互いの話をよく聞き合う。（はじめは教師が介入・支援する）

【家庭（地域）】

- 親子の関わりの時間を増やす。（スキンシップも必要）
 - ・ 子どもの話をじっくりと最後まで聞く機会や時間を設定する。（子どもの話の先取りをしない）
 - ・ どんな友人関係か。
 - ・ 今日の出来事を話す場面をつくる → トラブルがあった時でも、どんなことがあったか、どこが問題だったか、どうすればよかったのかを一緒に考える。
 - ・ 地域の人間関係を深める。
 - 地域の行事に親子で参加する。
 - ・ 日頃の言葉遣い（子どもが聞いているので大人も注意が必要）
 - 大人がモデルとなってトレーニングする。自分が悪いと感じたら、素直に謝ることの大切さを経験させたい。



< B-3 班 >

- ◎ いろいろな人、場面、立場から子どもの話を聞く
- ◎ 大人が言語モデルになったり、時には大人自身の得意、不得意を見せたりする

【学校・幼稚園】

- 自分のことを話す機会を多くつくる。（相手に知ってもらうために）
- S S T*（Social Skills Training）を活用した学級活動の実践
 - *「社会生活技能訓練」や「生活技能訓練」と呼ばれ、対人関係や社会生活を円滑に送るために必要なスキルを身につけるためのトレーニングのこと
- 教師と子どもの信頼関係を深めること（連絡ノートの活用等）

- 教師は、日常的に子どもともっとたくさん話をする。(いろんな思いを聞ける。言葉にならない思いを知ることができる。)
- 教師が言語モデルになる。

【家庭（地域）】

- 子どもの発達段階に応じた関わり方
- 困ったときには、担任の先生と共有できるような関係づくりに努める。
- 大人の考え方にとらわれると危険なので注意が必要
- 子どもへの助言
 - ・ 変化を恐れない（自分も変わるし、相手も変わるということ）
 - ・ 傷つけられながら成長することもある。
- 親が言語モデルになる。
- 親は、日常的に子どもともっとたくさん話をする。(いろんな思いを聞ける。言葉にならない思いを知ることができる。)
- 様々な体験や遊びを地域で！（たくさんの人と関わること）

（３）Ｃグループ（健やか）

テーマ「肥満と視力、う歯の低受診率について」

<Ｃ－１班>

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ◎ 食育の大切さを説明（“生命”を食べているということ） | ◎ 歯科教室の実施 |
|------------------------------|-----------|

【学校・幼稚園】

- 体を動かす機会、楽しい遊び、時間確保の仕方について提案する。
- 肥満、視力、う歯について、今後どのような影響があるか学びの時間をもつ。(子どもが自ら改善したいとの思いを強くもてるように)
- 食育
 - ・ 朝食をとらない子の家庭には個別指導する。
 - ・ ジャンクフードのデメリット
 - ・ 食育の授業実施
- 受診（治療）について
 - ・ 親への働きかけを継続する。
 - ・ 子どもたちへの指導継続（子どもが自覚し、保護者に言えるように）
 - ・ 治療済みの児童に書状を授与する。
 - ・ 現状を伝える。(おたより、授業参観日等)
 - ・ 情報提供（ネットで受診予約できること等）



【家庭（地域）】

- 生活で改善するといいいことについて家族で話し合う。
- 小さい頃から運動する習慣を！
 - ・ 親子で運動、スポ少、スポーツクラブ等
- 「受診のお願い」が渡ったらすぐに受診する。

< C－2 班 >

◎ 給食レシピ

◎ 親子で歯磨き教室

【学校・幼稚園】

- 給食レシピを保護者に伝える。（苦手な野菜が入ったメニュー）
- 歩く習慣づくり（安全確保等との関わりもあるが…）
- 運動の機会をさらに増やす。
- 歯科教室の開催
 - ・ 親子での歯磨き教室
 - ・ 歯科衛生士を招聘しての歯科教室
- 受診の報告があったら賞状を渡す。シール等で見える化する。
- おたより等で情報発信（受診医院の紹介）

【家庭（地域）】

- 食生活について
 - ・ 家族でなるべく一緒に食事をする。
 - ・ 食生活のバランス
- 親子でできる運動に取り組む。
- 毎日だいたい決まった時間に運動する。
- 視力が低下しないように、スマホを見過ぎないようにし、目にいいことを実践する。
- 親同士話し合う機会をもつ。（懇談会）

< C－3 班 >

◎ 運動内容の見直しと治療の必要性 ◎ 肥満傾向の児童が活躍できる遊びやイベントの実施
◎ 保健だよりにより病院のQRコードや実例を載せる（写真をつけて）

【学校・幼稚園】

- 肥満対策について
 - ・ 学校全体で → 全員外遊びデーを設定
 - ・ 遊びイベントの開催 … 休み時間はタブレット使用禁止にして実施
 - ・ ゲーム感覚で取り組める運動や活動
 - ・ 家庭でもできる運動・遊びの提案
 - ・ 講演会を実施
- 受診について
 - ・ 家庭へのお知らせ
 - メールに切り替える。おたよりに保護者の声も入れる。
 - 放っておくとどうなるか写真やイラストで伝える等工夫する。
 - ・ 各家庭に受診計画を出してもらう。
 - ・ 生活習慣についての講話やおたよりでの発信

【家庭（地域）】

- 食事の時間を決める。
- 生活習慣 … 子どもに大人に合わせた生活をさせない。
- スポ少やRC（レーシング・クラブ）等を活性化させる。（今あるもの以外でも）
- 楽しくできるよう軽運動から着手する。
- 長期休業中に「親子でダイエット！」を実施する。

7 グループ別協議内容共有（ワールドカフェ形式）



8 講 評

（ C S 委員会会長 ）

皆さん、熱い熟議をありがとうございました。講評とありますがお礼の言葉でございます。大山小学校・大山幼稚園の子どもたちの未来のためにいろいろなご意見をありがとうございました。本日は様々なご意見をいただきました。1つでも実現できるように頑張っていきましょう。

本日はありがとうございました。

9 御礼のことば・今後に向けて

（ 大山幼稚園長・大山小学校長 ）

本日は、お忙しい中夕方遅くまでご参加いただき、本校園377名の子どもたちのために力を貸していただき本当にありがとうございました。

皆さんもご存じの通り、2030年を目処に新しい学習指導要領の準備が始まっています。今年9月には「論点整理」として近い未来の方向性が示されています。その中では、未来の仕事は「意志決定」と「作業」に分けられ、「作業」は人工知能が担うことになります。今の子どもたちに求められている未来の仕事は「意志決定」、言わば何がしたいのかにかかっているとされています。

北海道大学の川村教授が、「自分で何をするのか決める仕事は残り、人から言われてやる仕事は人工知能に取って代わられる」と明言されています。さらに、川村教授は、「夢を馬鹿にすると路頭に迷う時代がやってくる」と話されていました。大山小学校・大山幼稚園の教育目標の「めざせ！夢に向かってがんばる子」は、正にそれを体現する誇らしい目標だと感じています。

本日皆さんからいただいた貴重なご意見を参考に、明日からまた子どもたちと共に夢に向かって頑張りたいと思います。ありがとうございました。

10 閉会のことば

（ C S 委員会副会長 館下 愛理 ）

これで令和7年度大山小学校・大山幼稚園学校運営協議会、第6回CS委員会を終わります。外は寒く暗くなっておりますので、皆さまお気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。